



笑顔の傘がいつせいに開いた(23日、名古屋市熱田区)

## 子供の笑顔、傘の花100本 COP10会場横でイベント

生き物も笑顔もいっばいな世界に……。子供たちの笑顔の写真を印刷した約100本の傘をいっせいに差し、生物の多様な未来を願うイベントが23日、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の会場横にある白鳥公園(名古屋熱田区)で開かれた。

生物資源による利益配分を巡り、先進国と発展途上国が対立するCOP

10。イベントを企画したアートディレクターの水谷孝次さんは「各国はエゴを捨て、未来の子供たちの笑顔のため会議をまとめてほしい」と訴えた。

市内の大学生らが中心となったメンバ―が傘を差すと子供の笑顔が広がり、見ていた人も思わずにっこり。通りかかった生物多様性条約(CBD)事務局のカナダ人スタッフ、マタヨシ・バンスキさんは「ぜひ事務局の公式ホームページに写真をのせたい」と話していた。

# 日本経済新聞

10月24日

日曜日